

Nougyou Nounou いしのまきNN通信



上品山山頂より望む石巻管内の風景

「いしのまきNN通信」は、石巻地域の農業農村整備事業に関連する活動等を広くお知らせすることを目的に、年3回程度発行しています。掲載希望の情報等がありましたら計画調整班までご一報ください。今後ともよろしくお祈りいたします。



「昆布沼への魚・引っ越し大作戦」を開催！

第17号の目次：

昆布沼への魚・引っ越し大作戦	1
集落点検を実施	2
地元のお祭りで野菜等を販売	2
東北大学工藤教授による講演会を開催	2
「ふるさと学習講座inかみふくだ」を開催	3
「ふるさと学習講座inひるぶち」を開催	3
田んぼの学校（稲刈り）	3
北上川フェア2008に参加	4
東松島市農業祭に参加	4
ピオトープ池の草刈り	4

9月21日（日）石巻市桃生町にある農業用ため池「昆布沼」において、「昆布沼への魚・引っ越し大作戦」が開催されました。昆布沼では、平成14年度から地域用水環境整備事業が実施されており、平成18年に昆布沼に生息する魚類を工事のため隣接する調整池に移動させていましたが、今般工事の完了に伴い、移動した魚類を昆布沼に戻す作業を行ったものです。参加者は、地元住民組織「昆布沼環境整備隊」の方々を中心に、総勢約100名に上りました。

当日は、「シナイモツゴ郷の会」高橋清孝副会長から、田んぼに棲む魚や外来種について講演が行われた後、魚の引越し作業を行いました。作業は、調整池の水をポンプで汲み上げた後、タモ網やサデ網を使って魚をすくい上げ、外来種を排除した後、昆布沼へ放流するという流れで行いました。



捕獲作業の様子



泥だらけの子供たち

移動した魚で最も多かったのはヘラブナで、約1,000匹が捕獲されました。生態系への影響が懸念されるブラックバスやブルーギル等の外来種は、約40匹見つけられました。

参加した方々からは、「こんなに数多くの魚がいるのか」などと驚きのコメントがあり、子どもたちは泥だらけになりながら魚採りに夢中になっていました。

担当：農地整備第一班

〔捕獲した魚類〕

フナ類（1,014）、ハス（103）、コイ（21）、ウグイ（14）、ニゴイ（11）、ナマズ（8）、カネヒラ（4）、ボラ（1）、ブラックバス（32）、ブルーギル（4）、ライギョ（4）、ハクレン（1）

地域の魅力を再発見！集落点検を実施 ～二俣南地区～

9月7日（日）、石巻市（旧河北町）の二俣南地区（東福田・北境地域）において、地域住民80名以上参加の下、集落点検を行いました。これは、地域住民自らが自分たちの住む集落を歩き回り、地域の歴史・文化や問題点を皆で確認することにより、ほ場整備を契機とした地域の活性化策を探るため、地域住民が主体的に計画し、開催したものです。

参加者は、5班に分かれて、各集落を徒歩で2時間程度点検しました。主な点検場所は、八幡神社、東福田の板碑群、梨の木水門、二俣神社、荷替坂、法華堂など、近くにありながら普段はなかなか見る機会のないものばかりで、参加者は地元有識者の話を聞きながら、興味深く点検していました。

昼食後、集落点検の際に撮影した写真をプリンターで打ち出し、各班ごとに用意した大きな図面に写真をはり付け、集落点検マップを作成しました。

その後、作成した集落点検マップを各班ごとに発表しました。発表者の中には、地区の歴史に大変詳しい方がおり、参加者は自分たちの集落の歴史に興味深く聞いていました。最後には、「河北音頭」が披露され、大変な盛り上がりを見せた集落点検が終了しました。

集落点検の結果、普段は何気なく通っている場所に、数多くの歴史や文化があることが分かり、参加者からは「大変勉強になった」との声が多く聞かれました。

担当：農村振興班



皆で集落を歩き回りました



集落点検の様子



集落点検マップ作り



地場野菜等の販売



鹿妻の鹿踊り

地元のお祭りで野菜等を販売～西矢本地区～

10月19日（日）、東松島市鹿妻において、「鹿石神社お祭り」が開催され、地元農家による地場野菜や加工品の販売が行われました。これは、ほ場整備事業を計画している西矢本地区において、事業を契機として地域の活性化を図ろうと活動している「西矢本地域手づくりプラン策定委員会」が主体となって、地域のお祭りを皆が楽しめるものにしようと企画し、開催したものです。

設置したテントでは、きゅうり、ねぎ、ミニトマト、レタス、ブロッコリー等の野菜の直売や、新米おにぎりや豚汁、米粉パンなどの加工品の販売、枝豆の無料配布やメダカの展示が行われました。また、地元の子供たちから伝統の「矢本鹿妻の鹿踊」が披露され、観客から大きな拍手が沸き起こりました。

当日は天候に恵まれ、多くの来場者があり、参加者からは、「活気のあるお祭りとなって良かった。今後も継続したい」との声が上がるなど、地域の盛り上がりを感じられました。今後も、委員会では、地域活性化に向けた活動を継続していく予定です。

担当：農村振興班

東北大学工藤教授による講演会を開催

8月21日（木）ほ場整備事業の平成22年度事業化を目指している鹿又地区、広淵沼地区のほ場整備事業推進委員等約70名出席の下、東北大学大学院農学研究科長の工藤昭彦教授から、「平成の農地改革とムラぐるみ構造改革の展望」と題して講演をいただき、関係者の意識向上を図りました。また、基調講演の後には、両地区の委員などをパネラーとして、集落営農の在り方等について意見交換会が行われました。

担当：農村振興班



講演の様子

「ふるさと学習講座inかみふくだ」を開催！

8月10日（日）平成23年度のほ場整備事業の事業化を目指す上福田地区（東松島市）において「ふるさと学習講座」を開催しました。本講座は、子どもたちなどの地域住民の農業に対する理解と関心を深めていただくことを目的に、平成12年度から行っている講座で、今回が19回目になります。

1. 地域農業の学習講座

第1部は講義形式で、農業や田んぼに住む魚などについて学習しました。お米のできるまで（東松島市）...お米ができるまでの具体的な手順について農家の苦勞を交えながら説明しました。土地改良区の役割（南郷土地改良区）...水路の維持・管理等の土地改良区の果たす役割について説明しました。田んぼに住む魚（東部地方振興事務所）...田んぼに住む主な魚の種類や特徴について説明しました。

2. 田んぼの生き物調査

第2部では、近隣の水路で田んぼの生き物調査や水質調査を行いました。調査の結果、下記のとおり、数多くの生き物が確認されました。絶滅危惧種であるメダカも発見されました。

確認された生き物（14種類）：**メダカ**、フナ類、コイ、タモロコ、モツゴ、タイリクバラタナゴ、オイカワ、ヒガイ類、オオクチバス、ドジョウ、マルタニシ、アメリカザリガニ、アマガエル、ニホンアカガエル

担当：計画調整班



生き物調査の様子



水質検査の様子



集合写真

「ふるさと学習講座inひろぶち」を開催！

8月12日（火）には、広淵小学校（旧河南町）5年生36名を対象として、「ふるさと学習講座」を開催しました。これは、「広淵ふるさと保全会」が農地・水・環境保全向上対策の活動の一環として田んぼの生き物調査を行うことから、これとタイアップしてほ場整備事業を予定している広淵沼地区の環境調査の一環として開催したものです。

内容は、田んぼに住む魚や土地改良区の役割について講義を行った後、田んぼに出かけて生き物調査及び水質検査を行いました。参加した小学生は真剣になって魚を追いかけていました。

担当：計画調整班



生き物調査の様子（広淵）

田んぼの学校（稲刈り）を開催～赤井小学校

10月14日（火）東松島市赤井小学校において、毎年恒例となっている田んぼの学校（稲刈り）が行われました。地元農家の方々や東松島市役所とともに当部職員も参加し、赤井小学校5年生33名を含む総勢約60名で行いました。

初めに、地元農家の方々から鎌の使い方や束ねた稲の結び方など稲刈りの方法について説明がなされ、その後、各人が鎌を使って稲刈りを開始しました。子ども達のほとんどは稲刈り体験が初めてでしたが、戸惑うことなく稲刈りをし、刈り取った稲をヒモで束ねていました。

その後、束ねた稲は小学校に軽トラックで搬送され、校庭にあるジャングルジムで乾燥させました。今後は、脱穀・精米をし、収穫祭でモチを食べることにしています。



ジャングルジムでの乾燥



ドジョウすくいの様子



ボーイスカウトによる植栽

北上川フェア2008に参加

10月5日(日)、石巻市中瀬公園で開催された「北上川フェア2008」に参加し、管内すべての土地改良区の職員とともに、「森林は水土里のともだち」というタイトルで展示ブースを設置しました。参加するのは今年で4回目です。

展示ブースでは、体験型コーナーとして、竹を利用した「紙鉄砲」「草笛」の作製及び「ドジョウすくい」を行うとともに、田んぼの水路で捕獲した魚類(メダカ、タモロコ、タナゴ類など)を水槽で展示しました。また、田んぼの役割や農地・水・環境保全向上対策の活動を紹介したパネルも設置しました。

さらに、今年度は、農業用水水源地域保全対策事業(普及促進)の一環として、石巻地区森林組合の方々にブースを設置していただくとともに、公園内で地元のボーイスカウトとともに、植樹活動を行いました。

開始当初から、展示ブースに多くの方の来場があり、特にドジョウすくいのコーナーは、子どもたちに大人気でした。

担当：計画調整班

東松島市農業祭に参加

11月9日(日)、東松島市野蒜バウンズ88で開催された「東松島市農業祭」において、石巻管内水土里ネット職員とともに展示ブースを設置し、水土里ネットのPRを行いました。

展示内容は、北上川フェアと同様、「ドジョウすくい」や竹を利用した紙鉄砲・草笛の作製を行うとともに、田んぼに住む魚たちの水槽展示や各種パネルの展示を行いました。

また、農業用水水源地域保全対策事業(普及促進)の一環として、石巻地区森林組合の方々にブースを設置していただくとともに、東松島市長による植樹活動(コウヤマキ2本)を行いました。

今年度は、「東松島カキまつり」と同時開催ということもあり、開始早々から数多くの来客があり、特にドジョウすくいのコーナーは大勢の人が詰めかけ、対応に追われました。

なお、隣のブースでは、ほ場整備事業の採択を目指している上福田地区の方々による地場野菜の販売が行われました。こちらも大盛況で、野菜がすべて売り切れました。

担当：計画調整班



展示ブースの様子



東松島市長による植栽

地元農家とピオトープ池の草刈りを実施

9月12日(金)、東松島市(旧矢本町)の北赤井地区(経営体育成基盤整備事業)にあるピオトープ池の草刈りと魚類のモニタリングを行いました。参加者は、地元農家や関係機関の職員で総勢約20名でした。

作業は、池の周囲に生い茂った雑草を刈り取るとともに、池の水をポンプで排水し水位を下げ、網を使って生息する魚類の調査を行いました。捕獲された魚類は、メダカ、コイ、フナ類等の8種類で、多くの魚類の生息場所になっていることが確認されました。

今後も、地元住民が主体となって継続的にピオトープ池の管理活動を行う予定です。

担当：計画調整班



作業後の集合写真



めだか のすめる たんぼ づくりをめざして

宮城県東部地方振興事務所 農業農村整備部

〒986-0812 石巻市東中里1丁目4-32

Tel 0225(95)1411 (内)478

Fax 0225(96)4880

E-mail et-ss-kt@pref.miyagi.jp

URL <http://www.pref.miyagi.jp/et-sgsin/nn/nn-top.htm>

編集・発行 (創刊平成15年2月)

宮城県東部地方振興事務所 農業農村整備部

計画調整班 広報広聴担当